



2025 年 10 月 発行
 社会福祉法人 ありのまま舎
 (障害者自立企画)
 発行責任者 白 江 浩
 編 集 佐 藤 環
 〒982-8544
 仙台市太白区西多賀 4 丁目 19-1
 TEL 022 (243) 1300
<http://www.arinomama.or.jp/>
 E-mail houjin-arinomama@globe.ocn.ne.jp

1976 年 2 月 25 日 第 3 種郵便物認可 (毎週 4 回月・火・木・金曜日発行)
 2025 年 10 月 10 日 発行 SSKO 通巻 12020 号

生命を守る避難訓練を行いました

～太白ありのまま舎・亘理ありのまま舎・自立ホーム～

法人の防災規程に則り、入居者が生活されている 3 事業所では年 2 回避難訓練を行っています。今年度第一回目となる訓練を 9 月に実施しました。

9 月 17 日 (水) 太白ありのまま舎では、夜間に震度 5 強の地震が発生、1 階脱衣室から出火した想定で行いました。スタッフは落下物から頭や体を保護するシェイクアウト訓練を実施し、その後、初期消火、防火戸を閉める等素早く行動を行いました。災害の時は停電しているかもしれないこと、皆で声をかけながら避難することが大切だと振り返りがありました。

9 月 18 日 (木) 亘理ありのまま舎では、夜間に厨房から出火した想定で行いました。初期消火後その結果がどうだったのかの確認、共有が十分なされないまま、避難誘導に注力してしまったこと、避難誘導時にスタッフ間の避難済者の確認に課題が残りました。

9 月 19 日 (金) 自立ホームは日中想定で行いました。大まかな日時のみを周知し、非常ベルが鳴った時に出勤しているスタッフ全員で避難誘導を行いました。入居者の外出の有無、ホーム内のどこにいて誘導が変わることを改めて気づき、その時の臨機応変な判断がいかに重要かを学びました。

実際の災害の避難では、誰がどう動くか個々の判断が重要になります。訓練時のみならず、日頃から有事の際の避難の意識を高めていきたいと思っています。



太白ありのまま舎 (9/17)
入居者の方を車椅子へ移乗



亘理ありのまま舎 (9/18)
初期消火の様子



自立ホーム (9/19)
外への避難

薫る風

ようやく秋の気配を感じる季節となった。長く暑い夏が終わろうとしている (終わつたと言いたい切れないのが今年の特徴か)。今年から職場における暑さ対策が義務化され、各職場では様々な取組

みがなされたと思う。当舎の入居者のほとんどが、自ら訴えることが難しいか、私たちがなかなかその思いを理解できない (これは私たちの問題でもあるが) 方々だ。従って気温等の気候変化がどのようにその方の心身に影響し、どう対応する必要があるのか的確に判断できない場合がある。全室にエアコンはあるが、その調整は職員が行わざる負えない方がほとんどだ。暑すぎず、寒すぎず微妙な変化に影響される方々に対して、難しい判断を日々何度も行っている。同時にスタッフ自身の暑さ対策も必要だ。適温設定しても、居室内で重症度の高い方の身体介助等や摘便など時間のかかる場合、汗だくになって居室から出てくる。全館にエアコンが設備されていても、スタッフの暑さ対策はそれだけでは不十分だ。走るまでもなく急ぎ足でも汗は噴き出る。ウォーターサーバーや給茶機 (数種の飲料水) で水分補給ができて、今年は十分かどうか分からない暑さだった。暑さ指数計を配置し一定数をめどに休憩等の対策をとったが、ナースコールは待ってくれない。どこの施設も同様だと思うが、なかなか思うようにコントロールできない職場環境にあることを改めて感じる。幸いにも入居者もスタッフも暑さが原因で体調を崩す方 (少なくともとはっきり暑さが原因) はいなかったようだ。しかし、何らかの影響は出ていると思う。夏にインフルエンザで学級閉鎖もあった。地球規模の温暖化とパンデミックにどう関係があるのか分からないが、これまでとは違う世界が始まっているような気がする。

(白江浩)

法人感染対策委員会

今後の対応を協議

毎月一回「法人感染対策委員会」を開催し、感染状況の共有と情報分析、今後の対応について話し合いを行っています。

仙台市内ではコロナ感染者が増えており、高止まりが続く百日咳、様々な感染症が季節に関係なく流行していることを感じています。インフルエンザの学級閉鎖の報道も耳にするようになりました。

9月の委員会では、毎年10月下旬からインフルエンザワクチン接種を希望する入居者、スタッフに開始となる事、コロナワクチンについては今後どれだけの効果があるのか、費用はどれくらいかかるのかなど正確な情報収集を行い、入居者やスタッフに情報周知していきけるようにすることを確認しました。またスタッフの希望者にはコロナの抗原検査を実施していますが、検査数が少なくなってきたており、改めて必要時の検査実施を呼びかけ、早期発見のために個々の意識を高めて対応できるように周知がなされました。

これから寒い季節を迎えます。より緊張感をもって感染症対応を行っていききたいと思えます。

ホームケア仙台ありのまま舎リビングセンター

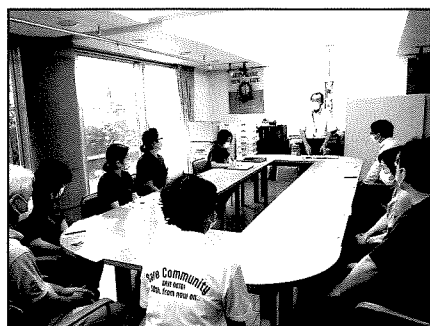
110番非常通報装置に伴う研修

今年7月に自立ホームに「110番非常通報装置」を設置しました。突発的な生命、身体に対する重大な危害が発生、あるいは発生する恐れのある時、ボタンを押すだけで110番へ緊急通報することが出来ます。

現在、駅や病院、銀行、保育園を中心に設置されていて福祉施設ではまだ少ないですが、全国では福祉施設での事件や事故が発生しており、法人として入居者が生活している3施設で設置を進めてきました。

今回、運用等の指導、助言を行っている日本防災通信協会宮城県支部の渡邊幸彦様をお招きして研修を行いました。

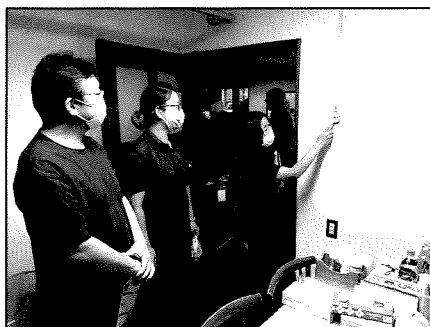
宮城県内で約670ヶ所に設置され、昨年度の通報は30件。



クレームや対象者が暴れるなどの事案が多かったそうです。「110番非常通報装置」はボタンを押すと既に登録してある名称住所が発信され、すぐに警察官が駆けつける流れです。「どういう時に押したらよいか」という使用判断基準について具体的に説明いただき、差し迫った危険を感じたら躊躇なく押すことをご指導いただきました。また不審者への対応については、必ず訪問者の確認を行う事、挨拶や声掛けは重要な対応であることを教えていただきました。

最後に使命や責任感には限界があり、まずは自分の生命を守ることを考えて対応して欲しいことをお話いただきました。

(佐藤環)



【サポートケア仙台ありのまま舎(難病・障害者相談支援センター)】

9月19日(金)ホームケア仙台ありのまま舎リビングセンターで避難訓練がありました。当事業所は同施設内にあることから入居者の皆様のご様子を拝見しています。事前にお知らせしない状況での避難訓練でしたが、落ち着いて避難されていました。東日本大震災から10年以上経ち、つい先日7月30日(水)に津波警報が発令され、改めて災害の時の対応について考えさせられていた中での避難訓練だったこともあり、計画相談で携わっている皆様の顔が浮かびました。

施設に入居されている方は常に職員がおりますが、在宅の方は必ず誰か支援者がいるとは限りません。助けを呼ぶことができないことや曜日や時間帯によっては避難がままならないこと、事業所に通所しているまたは途中の外出中であればその場所からどのように避難するのかわからないこと等々、想定されることが多々あります。

災害が起きることは避けて通ることはできませんが、事前の対策をとることで少しでも身を守ることは出来ます。携わっている皆様がこれからも安心して暮らすことができるように、それぞれの災害に応じた避難方法を考えていきます。(相澤誠二)

【仙台市基幹相談支援センター】

仙台市障害者基幹相談支援センターでは現在、「指定特定相談支援事業所運営研修」と「計画相談実務担当者研修会」の準備を進めています。

仙台市では計画相談の導入率が半数以下にとどまり、希望者に十分な支援が行き渡らない状況です。その背景には、相談支援事業所の安定した経営の難しさや、開設後のフォローアップの不足が挙げられます。こうした課題を踏まえ、仙台市からの委託により、指定特定相談支援事業所の開設を目指す法人等を対象に、経営に関する研修会と個別相談会を開催することとなりました。

また、市内の指定特定相談支援事業所の約4割が「一人事業所」であり、OJTの機会が乏しく、事業所運営の負担が一人に集中することで、区自立協への参加も困難な状況です。「計画相談実務担当者研修会」が、特に初任層の相談支援専門員にとって、宮城県人材育成ビジョンで掲げる人間性や基本的視点に沿いながら、計画相談支援の過程を体系的に理解する一助となることを期待しています。

(鈴木三千恵)



令和 7 年度『介護職員等による喀痰吸引等研修』 「コロナ禍を経て、6 年ぶりに再開」

令和 7 年度『介護職員等による喀痰吸引等研修』が 9 月 2 日（火）・3 日（水）、太白ありのまま舎を会場に行われ、実に 6 年ぶりの開催となりました。

当時はコロナ禍にあり、開催予定だった研修が急遽中止となりました。申し込まれた方の中には、直ぐにでも現場で実地を行いたい状況の方もいらつしやいました。今回開催された研修には、当時申し込まれた方も無事に参加する事が出来ました。

また、新たな受講者の中にはベトナムから福祉を学ぶ為日本に来られたお二人の姿がありました。皆さん緊張な面持ちで講師の話にメモを取りながら講義に臨まれていました。

『介護職員等による喀痰吸引等研修』とは、平成 24 年度から施行された介護職員等によるたんの吸引等の制度を受け、居宅及び障害者施設等において、必要なケアをより安全に提供するため、適切にたんの吸引等を行うことができる介護職員等を養成することを目

的に、太白ありのまま舎を会場に研修を行っています。



当日のテキスト

たんの吸引、経管栄養等は以下の行為となります。
「たんの吸引」

①口腔内②鼻腔内③気管カニューレ内部

「経管栄養」

①胃ろう②腸ろう③経鼻経管栄養

今回の開催については、これからの感染状況を見ながら開催ができるかどうか、検討を進めていきたいと考えています。今後の日程につきましましては、社会福祉法人ありのまま舎の HP に掲載致しますので、ご確認頂きます様、宜しくお願い申し上げます。

（栗原千賀子）

当日は、仙台放送 東北放送に取材いただきました。夕方のニュースで放映されました。

茂庭台エリア

【難病ホスピスケア太白ありのまま舎】
【メディアカル】

最近「ウエルビーイング」の言葉をよく聞く。人生 100 年を生きる上で自分にとっての「ウエルビーイング」とは。

現代は環境問題、貧困問題等様々な課題が複雑に絡み合っており、先が見えにくい時代と言われている。だからこそ、経済的な豊かさだけでなく、精神的な豊かさや、病気とうまく付き合いつながりながら健康を維持できるかが重要視されている。

我々看護師は WHO の健康の定義からウエルビーイングとは馴染み深い、日々関わらせていただいている利用者の方はどうお考えだろう。もっと生活の質向上に向けてできることはないだろうか。

体調の急変で救急搬送されることもあり、多職種で協力する事は複雑で多岐にわたる。Aさんの不眠の原因は病気の進行、身体の細やかな変化なのか、他者とのコミュニケーションが上手くいかない事か、ご自身が心地よく過ごせる環境に不足があるのか。苦痛を取り除かれて安心して良眠していただきたい。利用者の方の生命の安全、

自己実現と権利の尊重のため適切な看護を絶え間なく提供し続ける。それがメディアカル職員のウエルビーイングと考える。
（星比呂美）

【チャイルドケア仙台ありのまま舎保育園】

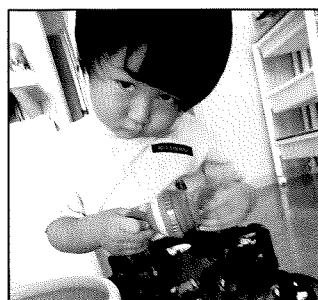
朝晩が冷え込むようになり、季節も秋へと移り変わりました。

早いですね。4月はまだまだ赤ちゃんの幼い表情の子どもたちも心と身体がぐんと成長し、日に日に発語も増え、給食中に眠くなり不機嫌になることで訴えていたのが「眠くなってきたな」としつかりお話ししてみたり指先も上手に使えるようになり成長が目覚ましく、毎日会うことがとても楽しいです。

様々な遊びへの興味も深まってきました。好みのキャラクターができたり、おもちゃより洗濯ばさみや、ベルトを外すなど身近な物に興味津々だったり。その時の小さな発達や興味に気がついたら、これやってみたいらどういう反応するのか？おもしろそうという大人の興味で遊びをはじめてみると、遊びや発達が促されます。子どもが楽しみ始め

めたら、側で見ていることも大切。子どもは新しいことは大人に確認しながら進めます。遊んでいるからと側を離れてしまうと、集中も途切れてしまいます。うちでは家事で忙しいですが、成長に気がついた時は、側でできる家事をしながら一緒に遊びを楽しんでみてください。安心感から集中力も高まりますよ。

（春日麻里）



疲れから少し機嫌が悪くなることもありますが、そんな姿も可愛らしいです。



名取エリア

【サポートケア名取ありのまま舎
（難病・障害者相談支援センター）】

今月は 20 代の男性で、精神障害のある O さんにインタビューをしました。

① 平日の一日の流れ

朝起きたら、自分で朝食を作って食べます。日中は家事をしたり、友達と会ってゲームをしたりして過ごしています。夜は 12 時頃に寝ます。

② 好きなことや推しグッズ

自作パソコンで対戦ゲームをすることです。カードシヨップに行つてカードゲームの対戦をすることもあります。リズムゲームをするのも好きです。

③ これからの目標について

最近、普通自動車の運転免許を取得できました。今は、運転に慣れるために名取市内のみを走行していますが、いつかは県外に行きたいですね。特に、箱根温泉に行つてみたいです。

進路についてはまだ気持ちが揺れています。事業所の見学や体験を進めながらゆっくり決めていきたいです。

目標を立てながら、一つ一つ焦らずに実行している O さんが、今後もご本人のペースで生活ができるよう応援していきたいと思っています。
(澤田石裕子)

亘理エリア

【サポートケア亘理ありのまま舎
（難病・障害者相談支援センター）】

はじめまして、9 月よりサポートケア亘理ありのまま舎舎長・相談支援センターで相談員としております大宮と申します。

今までは、介護施設で相談員として長年働いてきました。毎日が初めての経験で、とまどいもありますが、今私が出れることを精一杯頑張つていきたいと思っています。

毎週木曜日に開催している、精神障害者コミュニティサロンに参加させていただきました。参加者の方と買い物やアイドルの話に花が咲き楽しい時間を過ごさせていただきました。手先の器用な方や絵が得意な方もいらつしやるようなので、興味があれば一緒につまみ細工なども出来たら良いなと思っています。これまで培ってきた経験を活かしながら、誰もが住み慣れた地域で安心して生活できるようにお手伝いできればと考えております。新たな分野への挑戦ということで、日々学び成長していきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。
(大宮朋子)

【難病ホスピスケア亘理ありのまま舎】
【事務局】

亘理ありのまま舎の玄関の手洗い所やカフェに珍しい植物が飾られていました。

「ソラナムパンプキン」という見た目はカボチャの形をしているのですが、実は観賞用のナス科、という珍しい植物です。スタッフの方がお家から持ち寄つて下さいました。入居者の方々も訪れる方々も珍しい植物に興味津々で、話に花を咲かせている光景をよく見かけました。植物が建物内に様々な潤いを与えてくれております。

一方、建物外は今シーズンもぐんぐん伸びる雑草に悪戦苦闘しております。美的にも衛生的にも環境整備はどうしても必要です。例年になく猛暑のなか、通常業務の合間を縫ってスタッ

フの皆さんが、大粒の汗を流しながら草刈り作業を頑張つて下さいました。現在も、宿直スタッフが朝の限られた時間の中で草刈り作業を継続して下さっております。

環境整備に終わりはありません。入居者・利用者の皆様、亘理ありのまま舎を訪れる皆様、日々気持ちよく過ごせる環境・空間づくりを目指して、これからも日々環境整備に努めていかなければ、と強く感じております。
(鈴木一彦)



カフェに飾られたソラナムパンプキン



 山田かざとり眼科

 022-748-7657

診療に関するお問い合わせや当院に関するご質問、ご要望などお気軽にお問合せください

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
8:30~12:00	○	○	○	○	○	○	休診
14:00~17:00	○	手術	○	○	○	休診	休診

〒982-0818 宮城県仙台市太白区山田新町82
(K's ケーズデンキ仙台太白店そば)

【サポートケア県南ありのまま舎
（難病・障害者相談支援センター）】

現在ハローワークで就職活動をしている利用者A様は、隣の一般企業に障害者雇用で働いていましたが、先日退職をされました。当時の職場までは自宅から最寄りのバス停まで歩き、バスを乗り継いで通勤していました。しかし、通勤に利用していた町のバスが昨年末に運行廃止になってしまい、その後は職場までタクシーで通うことになりました。毎月の通勤にかかる交通費は収入の半分を占める額となり、通勤に経済的な負担が少ない他の職場を探すことにしたのです。

他にも、支援学校高等部で就労実習に取り組んでいる利用者B様は、実習をした隣の就労継続支援B型事業所での活動が楽しかったのでここに通いたいと将来の希望を話されていました。その事業所は町内の利用者は送迎があるものの、町外の利用者はJRとバスを乗り継ぐなど、一人で通所することが難しいB様はお母様と相談して希望を変更されました。

移動手段が確保されることで、仕事や活動に取り組むことなど自己実現につながります。地域の足の環境整備がされるための知恵の出し合いを、自立支援協議会などの場で深められればと思います。
（根元香奈子）

「支援頂きありがとうございます
ございました（敬称略）」

【書損じはがき等】

25 8/30より26

【バザー提供】

25 8/31より30

【ボトルカンパ】

25 5/30より26

ヤマザワ茂庭店（太白区）

8, 157円

茂庭台地区のみならず「難病ホスピス太白ありのまま舎」の同居者・スタッフにとりましても、大変身近で大切なお店です。月一回のバザー会の会場としても大変お世話になっております。

花の膳大和町吉岡店

（黒川郡） 22, 940円

宮城県内に5店舗を構える、おもてなしを何よりも大切にされている和食のお店です。当舎への食事のご奉仕など様々な面で大きなお支えを頂いております。

（鈴木一彦）

【バザー開催日のご案内】

《2025年11月》

4日（火）コックベニマル鉤取店

6日（木）ヨークマルシェ大和町店

11日（火）ヨークベニマル南吉成店

13日（木）鶴ヶ谷生鮮いちば

18日（火）ヤマザワ茂庭店

25日（火）袋原（向日葵ライフサポートセンター）

27日（木）鶴ヶ谷生鮮いちば

29日（土）ありのままショップセール

（仙台ありのまま舎）

「協力ありがとうございました
ございました（敬称略）」

【本部】

◆会報発送のための帯封の糊付けを、仙台西高等学校JRC有志・東北学院榴ヶ岡高等学校有志・個人の皆様にお手伝いいただきました。

◆会報の折り込みは、日本基督教団東北教区婦人会、仙台北平教会といずれも愛泉教会の皆様にご協力をお願いいたしました。また、自立ホーム入居者有志の皆様は、体調をみながらお手伝いいただいております。

◆バザー会では、各会場でコロナ感染症予防に気を付けながらお手伝いいただいております。ショップセールの会場でも、開始準備や片付け等のお手伝いいただきました。

【太白ありのまま舎】

宮城県車いすダンス協会様や、茂庭台ボランティアグループの皆様などに協力いただいている活動については、基本的な感染対策と熱中症にも気を付けながら、活動の制限緩和をしていきたいと考えております。

過ごしやすい天候に外出の機会も多くなりますが、感染症対策は引き続きしっかりと行い、安心して季節の移ろいを楽しみたいと思います。

（遠藤寿子）

在宅介護を応援します!!

ケーアイ調剤薬局

〒982-0031 仙台市太白区泉崎1丁目34-16

Tel・Fax 022-743-3161